



TAKASHIMA
CHIJIMI

高島晒協業組合

今の時代だからこそ 私たちに
出来ることを提案します

※ ここにあるのはほんの一例です

涼感 TS-6-2



【素 材】

受領加工布：綿 100% 楊柳（未加工布・加工布）計2点
洗濯条件：JIS L1930 C4M 法（風乾）10回

【試験方法】

涼感性能試験（OP-B法）

試料を2つ折りにしたものを試験片とし、折りたたんだ内側中央に温度センサーを設置する。約33℃の雰囲気中にて試験片中央部（センサーの上）に約0.2m lの水を滴下し、湿潤部の温度を10分間測定する。

生地：10*10cm、条件：33℃×30%RH、水：33℃（0.2m l）

【試験結果】

(TIME)	(℃)				
	未加工布	加工布 初期	未加工対比	加工布 洗濯10回後	未加工対比
0	33.1	33.1	0.0	33.1	0.0
10秒	31.8	31.1	-0.7	31.3	-0.5
20秒	30.1	29.4	-0.7	29.4	-0.7
30秒	28.4	27.9	-0.5	28.0	-0.4
40秒	27.3	26.8	-0.5	26.8	-0.5
50秒	26.3	26.0	-0.3	26.1	-0.2
60秒	25.8	25.2	-0.6	25.6	-0.2
2分	24.4	24.0	-0.4	24.3	-0.1
3分	24.3	24.1	-0.2	24.1	-0.2
4分	24.2	23.8	-0.4	24.0	-0.2
5分	24.4	23.7	-0.7	24.1	-0.3
6分	24.3	23.7	-0.6	24.0	-0.3
7分	24.4	23.4	-1.0	24.2	-0.2
8分	24.3	23.6	-0.7	24.2	-0.1
9分	24.2	23.5	-0.7	24.0	-0.2
10分	24.1	23.5	-0.6	24.1	0.0
最大優位差 (℃)		-1.0		-0.7	

【素 材】

受領加工布：綿 100% 楊柳

【抗菌性試験詳細】

試料	生菌数の常用対数値		抗菌活性値評価
	接触直後	18時間後	
初期	4.4	1.8	4.5/合格
洗濯10回後	4.4	1.8	3.1/合格
綿標準白布	4.4	6.3	-

注*界面活性剤（Tween80）を添加した試験菌懸濁液を使用した。
なお、抗菌活性値＝（Mb-Ma）-（Mc-Mo）（抗菌活性値≥2.2, 合格）

Ma：標準布の試験菌液接触直後の生菌数
Mb：標準布の18時間培養後の生菌数
Mo：抗菌防臭加工布の試験菌液接種直後の生菌数
Mc：抗菌防臭加工布の18時間培養後の生菌数

【抗菌性試験方法：繊維評価技術協議会に準拠】

- 試験菌：黄色ブドウ球菌
- 試験方法：滅菌した試験素材に試験菌のバイオン懸濁液を注入し、密閉容器中にて37℃×18時間培養後の生菌数を測定する。植菌後、無加工布菌数に対する抗菌活性値により、抗菌数を評価する。
- 有効性：Mb-Mc=1.9>1.0により試験は有効
- JIS L-0217 103法（JAFET標準洗剤使用 自然乾燥 洗濯10回）

抗菌 TS-1-1

